

京都市告示第 486 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する
条例に基づき、令和 2 年 4 月 1 日から令和 2 年 9 月 30 日までの期間におけ
る本市公営企業の業務状況を次のとおり公表します。

令和 2 年 12 月 28 日

京都市長 門 川 大 作

令和2年度前期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

当期一日平均旅客数は230千人となり、前年度同期に比べ146千人（38.8%）の減少となりました。

当期旅客収入は6,901百万円となり、前年度同期に比べ4,276百万円（38.3%）の減少となりました。

当期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に比べお客様が大きく減少しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止及びお客様サービスの取組として、以下の事業を実施しました。

- 急行系統、深夜バス等の減便及び運休（4月20日～5月31日※）
※ただし、ぎおん・よるバス、かわらまち・よるバスを除く。
- 市バス・地下鉄案内所（5箇所）の営業時間を短縮（4月20日～5月24日）
- 市バス車両の抗ウイルス・抗菌加工の実施
- 新型コロナウイルス感染症対策に係る啓発チラシの配布と啓発ポスターの掲出
- 「一条戻橋・晴明神社前（北行）」停留所の上屋等の新設
- 「京の駅ミスト」・「京のまちなかミスト」の実施

02年度4～9月 一日平均旅客数(バス)

(単位:千人)

	01年度	02年度	対前年度増減率
4月	413	190	△54.0%
5月	369	182	△50.7%
6月	364	238	△34.8%
7月	362	252	△30.4%
8月	351	241	△31.5%
9月	396	276	△30.2%
4～9月累計	376	230	△38.8%

(参考) 運輸成績

〔 令和2年4月 1日から
令和2年9月30日まで 〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	316.33	317.33	△ 1.00	△ 0.3%
在籍車両数 (両)	822	818	4	0.5%
使用車両数 (両)	134,419 (735)	135,104 (738)	△ 685 (△ 3)	△ 0.5% (△ 0.4%)
走行キロ数 (km)	16,003,995 (87,454)	16,096,061 (87,957)	△ 92,066 (△ 503)	△ 0.6% (△ 0.6%)
旅客数 (人)	42,047,969 (229,770)	68,757,866 (375,726)	△ 26,709,897 (△ 145,956)	△ 38.8% (△ 38.8%)
旅客収入 (千円)	6,901,220 (37,712)	11,177,474 (61,079)	△ 4,276,254 (△ 23,367)	△ 38.3% (△ 38.3%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(令和2年4月 1日から
令和2年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	9,761,129	自動車運送事業収益	7,714,982
営業費用	9,741,284	営業収益	7,311,287
保 存 費	1,062,427	運 送 収 益	6,789,955
運 転 費	3,936,275	そ の 他	521,332
管 理 費	3,868,284	営業外収益	403,695
減 価 償 却 費	874,298	他 会 計 補 助 金	305,100
営業外費用	19,845	長 期 前 受 金 戻 入	83,132
支 払 利 息	11,180	そ の 他	15,463
雑 支 出	8,665		
		当期純損失	2,046,147
合 計	9,761,129	合 計	9,761,129

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	23,353,424	固 定 負 債	7,678,631
有形固定資産	22,056,337	企 業 債	4,196,306
無形固定資産	28,263	引 当 金	3,482,325
建設仮勘定	67,824	流 動 負 債	2,582,901
投資その他の資産	1,201,000	企 業 債	531,158
流 動 資 産	6,702,643	未 払 金	1,153,616
現 金 預 金	105,618	預 り 金	188,807
未 収 金	999,078	前 受 金	546,790
貯 蔵 品	44,434	仮 受 金	162,530
貸 付 金	5,100,000	繰 延 収 益	1,901,025
前 払 金	137,228	長 期 前 受 金	1,901,025
仮 払 金	316,285	資 本 金	11,075,549
		資 本 金	11,075,549
		剰 余 金	6,817,961
		資 本 剰 余 金	753,577
		利 益 剰 余 金	6,064,384
合 計	30,056,067	合 計	30,056,067

備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、311億3,470万円です。

2 長期前受金収益化累計額は、61億2,015万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	5,257,884	0	530,420	4,727,464
合 計	5,257,884	0	530,420	4,727,464

令和2年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

当期一日平均旅客数は243千人となり、前年度同期に比べ172千人（41.4%）の減少となりました。

当期旅客収入は8,413百万円となり、前年度同期に比べ5,982百万円（41.6%）の減少となりました。

当期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に比べお客様が大きく減少しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止及びお客様サービスの取組として、以下の事業を実施しました。

- 地下鉄深夜便「コトキン・ライナー」の運休（4月24日～6月4日）
- 土曜及び休日ダイヤの減便（4月29日～5月29日）
- 市バス・地下鉄案内所（5箇所）の営業時間を短縮（4月20日～5月24日）
- 地下鉄車両の抗ウイルス・抗菌加工の実施
- 新型コロナウイルス感染症対策に係る啓発チラシの配布と啓発ポスターの掲出

02年度4～9月 一日平均旅客数(地下鉄)

(単位:千人)

	01年度	02年度	対前年度増減率
4月	421	203	△51.8%
5月	423	180	△57.3%
6月	418	256	△38.9%
7月	415	267	△35.8%
8月	393	260	△33.8%
9月	422	294	△30.2%
4～9月累計	415	243	△41.4%

(参考) 運輸成績

〔 令和2年4月 1日から
令和2年9月30日まで 〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	44,110 (241)	44,184 (241)	△ 74 -	△ 0.2% -
走行キロ数 (km)	10,464,625 (57,184)	10,605,051 (57,951)	△ 140,426 (△ 767)	△ 1.3% (△ 1.3%)
旅客数 (人)	44,488,637 (243,107)	75,978,616 (415,184)	△ 31,489,979 (△ 172,077)	△ 41.4% (△ 41.4%)
旅客収入 (千円)	8,412,947 (45,972)	14,394,959 (78,661)	△ 5,982,012 (△ 32,689)	△ 41.6% (△ 41.6%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数值である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

令和2年 4月 1日から
(令和2年 9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	14,010,797	高速鉄道事業収益	12,524,788
営業費用	11,877,980	営業収益	9,587,478
保存費	1,978,921	運輸収益	8,368,867
運転費	1,070,163	その他	1,218,611
運輸費	1,873,245	営業外収益	2,937,310
管理費	394,592	他会計補助金	1,590,368
減価償却費	6,561,059	府補助金	15,718
営業外費用	2,132,817	長期前受金戻入	1,327,165
支払利息	2,131,295	雑収益	4,059
雑支出	1,522	当期純損失	1,486,009
合 計	14,010,797	合 計	14,010,797

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	432,761,354	固定負債	316,226,872
有形固定資産	430,861,487	企業債	279,858,172
無形固定資産	468,855	他会計借入金	25,530,820
建設仮勘定	1,375,412	府借入金	1,625,010
投資その他の資産	55,600	引当金	3,418,641
流動資産	2,211,615	リース債務	3,564
現金預金	291,101	その他固定負債	5,790,665
未収金	1,623,060	流動負債	60,762,016
貯蔵品	1,079	企業債	18,863,163
前払金	276,242	他会計借入金	569,270
前払費用	6	府借入金	114,495
仮払金	20,127	一時借入金	35,550,000
繰延勘定	38,540	未払金	1,897,675
企業債発行差金	38,540	預り金	500,018
		前受金	892,401
		仮受金	445,989
		リース債務	1,184
		その他流動負債	1,927,821
		繰延収益	105,824,031
		長期前受金	105,824,031
		資本金	248,041,699
		資本金	248,041,699
		剰余金(欠損金)	△ 295,843,109
		資本剰余金	8,466,724
		欠損金	△ 304,309,833
合計	435,011,509	合計	435,011,509

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,378億636万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、1,132億671万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	124,502,993	0	6,068,979	118,434,014
特 例 債	17,325,400	763,000	986,400	17,102,000
資本費負担緩和 分 企 業 債	67,064,520	0	1,007,599	66,056,921
資本費平準化債	97,439,220	0	310,820	97,128,400
鉄道・運輸 機 構 借 入 金	9,637,243	0	1,918,757	7,718,486
長 期 借 入 金	28,523,360	0	683,765	27,839,595
合 計	344,492,736	763,000	10,976,320	334,279,416

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は355億5千万円です。

令和2年度前期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

当期有収水量は、前年度同期（8,216万立方メートル）に比べ177万立方メートル（2.2パーセント）減少し、8,039万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期（147億8,323万円）に比べ4億1,286万円（2.8パーセント）減少し、143億7,037万円となりました。

また、当期総収益は、168億4,240万円となり、一方、当期総費用は、135億4,559万円となりました。

建設改良事業について、管路では、幹線配水管布設及び布設替え（延長3.8キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長27.3キロメートル）、補助配水管布設及び布設替え（延長6.2キロメートル）等を施工しました。また、浄水場では、前年度に引き続き、新山科浄水場導水トンネル築造工事、蹴上浄水場第1最高区配水池耐震化工事、松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事、新山科浄水場2系ちんでん池改良工事等を施工するとともに、蹴上浄水場第2高区3号配水池耐震化工事等に着手しました。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(令和2年4月1日から令和2年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	13,545,593	水道事業収益	16,842,403
営業費用	12,723,463	営業収益	15,547,510
原水費	299,174	給水収益	14,370,366
浄水費	1,987,737	他会計負担金	42,069
配水及び給水費	2,017,034	その他営業収益	1,135,075
業務費	1,273,743		
総係費	742,381	営業外収益	1,294,893
減価償却費	6,386,979	受取利息	839
資産減耗費	16,415	長期前受金戻入益	1,141,953
営業外費用	822,130	雑収益	152,101
支払利息及び 企業債取扱諸費	812,890		
雑支出	9,240		
当期純利益	3,296,810		
合 計	16,842,403	合 計	16,842,403

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	320,318,247	固 定 負 債	157,047,056
有形固定資産	315,575,350	企 業 債	150,740,864
無形固定資産	1,396,652	リ ー ス 債 務	644,758
投資その他の資産	3,346,245	引 当 金	5,661,434
流 動 資 産	13,297,736		
現 金 預 金	4,276,351	流 動 負 債	9,981,633
未 収 金	2,758,883	企 業 債	5,274,105
貯 蔵 品	573,627	リ ー ス 債 務	164,614
保管有価証券	200,000	未 払 金	2,218,557
仮 払 金	4,745	前 受 金	500,387
短期貸付金	2,500,000	預 り 金	1,623,970
前 払 金	2,984,130	預 り 有 価 証 券	200,000
その他流動資産	0		
		繰 延 収 益	39,943,184
		長 期 前 受 金	39,943,184
		資 本 金	111,530,996
		剰 余 金	15,113,114
		資 本 剰 余 金	3,831,625
		利 益 剰 余 金	11,281,489
合 計	333,615,983	合 計	333,615,983

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,629億1,512万円です。

備考 2 長期前受金収益化累計額は、512億2,044万円です。

備考 3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和2年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	160,140,762	376,000	4,501,793	156,014,969

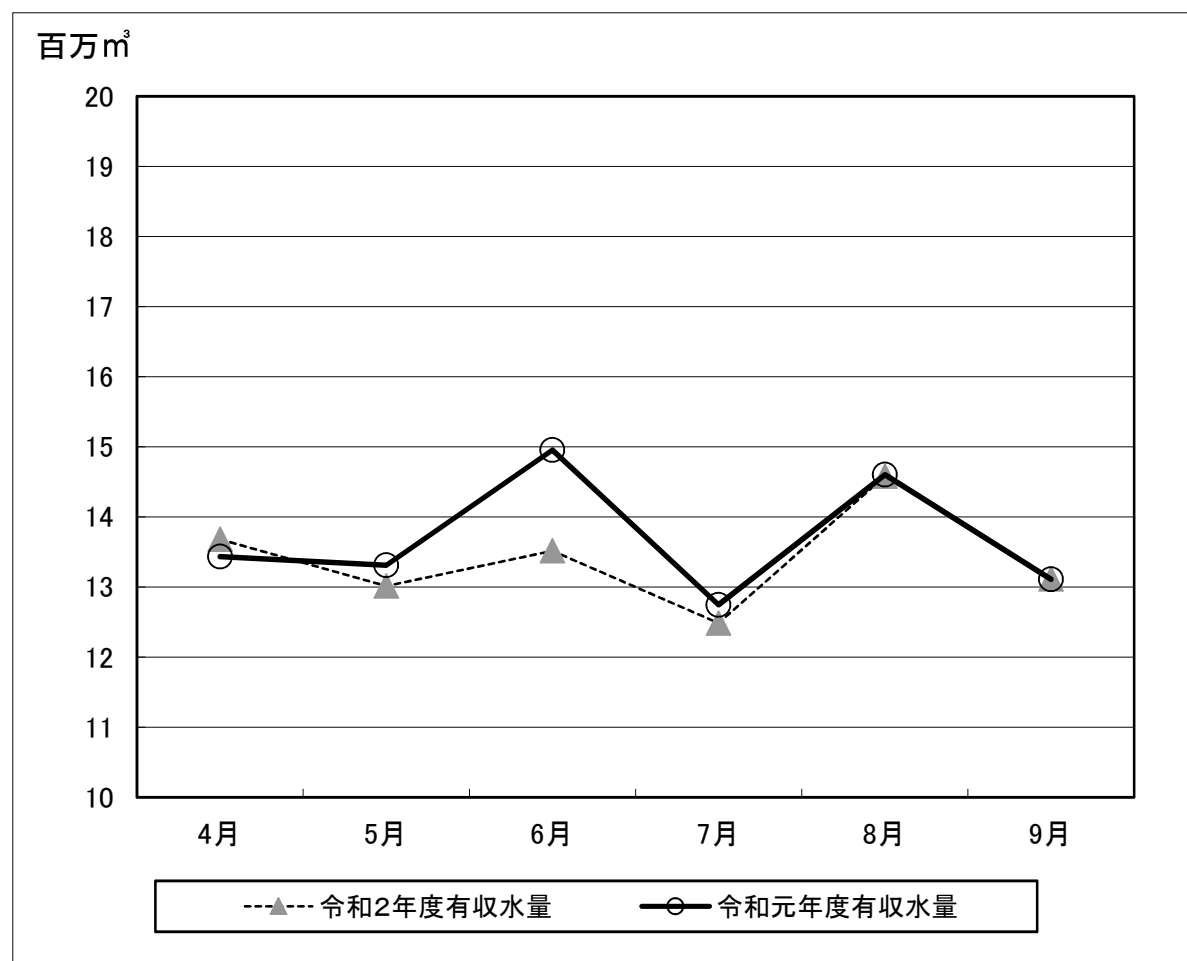
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
令和	m ³
2年 4月	13,680,642
〃 5月	13,012,106
〃 6月	13,516,509
〃 7月	12,484,930
〃 8月	14,579,015
〃 9月	13,113,229
合計	80,386,431
1日平均	439,270
前年同期1日平均	448,978



令和2年度前期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

当期有収汚水量は、前年度同期（8,876万立方メートル）に比べ280万立方メートル（3.2パーセント）減少し、8,596万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期（116億4,432万円）に比べ6億1,075万円（5.2パーセント）減少し、110億3,357万円となりました。

また、当期総収益は、249億3,852万円となり、一方、当期総費用は、227億6,389万円となりました。

建設改良事業について、管きよでは、前年度に引き続き、西部1号・2号分流幹線，津知橋幹線，津知橋北幹線等を施工しています。

終末処理場では、鳥羽水環境保全センターにおいて、前年度に引き続き、汚泥搬送設備整備工事等を施工しています。伏見水環境保全センターにおいては、前年度に引き続き、分流系沈砂池工事等を施工するとともに、分流系最初ちんでん池整備工事に着手しています。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(令和2年4月1日から令和2年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	22,763,888	公共下水道事業収益	24,938,519
事業費用	21,086,858	事業収益	21,015,033
下水道維持費	1,587,721	下水道使用料	11,033,566
下水処理費	4,900,841	他会計負担金	9,721,287
業務費	682,366	その他事業収益	260,180
水洗便所普及 対策費	117,287	事業外収益	3,923,486
総係費	409,652	受取利息	630
減価償却費	13,388,482	他会計負担金	38,702
資産減耗費	509	長期前受金 戻入金	3,862,390
事業外費用	1,677,030	雑収益	21,764
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,667,940		
雑支出	9,090		
当期純利益	2,174,631		
合 計	24,938,519	合 計	24,938,519

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	672,191,340	固 定 負 債	248,507,007
有形固定資産	666,077,433	企 業 債	242,909,301
無形固定資産	5,642,397	企 業 債 償 還 金	2,445,310
投 資 資 産	471,510	積 立	
その他の資産		リ ー ス 債 務	200,737
流 動 資 産	11,452,479	引 当 金	2,951,659
現 金 預 金	5,716,729	流 動 負 債	27,866,837
未 収 金	1,913,422	企 業 債	19,761,141
貯 蔵 品	12,840	企 業 債 償 還 金	1,871,680
保管有価証券	175,790	積 立	
仮 払 金	3,186	リ ー ス 債 務	54,570
短期貸付金	1,000,000	未 払 金	5,430,241
前 払 金	2,630,512	前 受 金	491,483
		預 り 金	81,932
		預り有価証券	175,790
		繰 延 収 益	156,118,446
		長期前受金	156,118,446
		資 本 金	231,619,242
		剰 余 金	19,532,287
		資本剰余金	8,194,834
		利益剰余金	11,337,453
合 計	683,643,819	合 計	683,643,819

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、7,284億594万円です。

備考 2 長期前受金の収益化累計額は、2,111億2,817万円です。

備考 3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和2年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	251,872,111	150,000	7,349,150	244,672,961
資本費債 平準化債	22,358,177	0	43,705	22,314,472
合 計	274,230,288	150,000	7,392,855	266,987,433

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
令和	m ³
2年 4月	14,646,130
〃 5月	14,067,679
〃 6月	14,283,879
〃 7月	13,485,939
〃 8月	15,492,298
〃 9月	13,991,636
合計	85,967,561
1日平均	469,768
前年同期1日平均	485,069

